

カドマップ

—「今」を映すハザードマップ—

チーム名：8*4=32

メンバー：○田村 愛琉、門 柊太、湯山 修恩、片山 謙信

所属： 沼津工業高等専門学校 制御情報科 1年

1. 提案理由

○静岡県の課題

- ・特に若者の防災意識
- ・南海トラフ地震

○防災インフラにおける課題

- ・ハザードマップの認知、精度



災害に対する意識の**改革**と、それにともそれに伴った防災インフラの**発展**が必要！

2. 提案内容

○どのような技術か

ユーザーが住む地域の、道路の整備不良や私有の塀の倒壊リスクなど災害時、避難の妨げになる可能性のあるものをSNSと同じシステムで地図上に共有することができるようにする技術。

○カドマップの利点

それぞれの地域に住むユーザー自身によって常に更新されるため、行政の力だけでは調査しきることのできない細部の危険表示することができる。

そして、投稿された情報をもとに最適な避難経路を提示することができる。

また、スマートフォンでできるため、若者にも触れてもらいやすい。

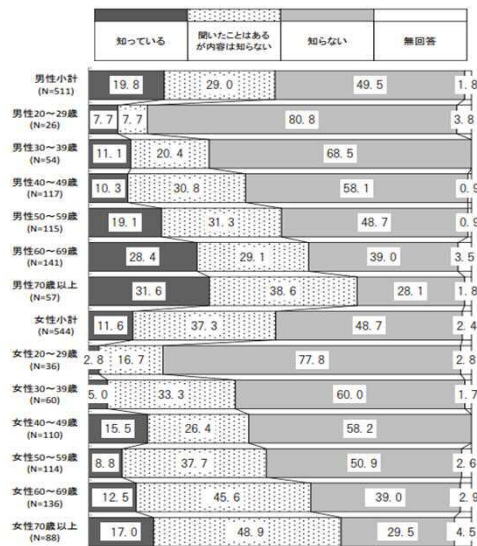


図1. 南海トラフ地震についての県民意識調査より
南海トラフ地震臨時情報が発せられたときの行動について